



ホシザクラが自生する片所谷戸

ホシザクラとホタルが生きる 片所谷戸の自然を守って!

請願 採択

日本共産党市議 建設常任委員 高嶋 均

濡れた落ち葉が歩く先に道を造り、湧き水で溜まった小池には、夏のホタルの輝きが見え隠れするようです。世界に100本しかないといわれるホシザクラは、この冬を越す準備に入りました。そんな自然が京王多摩境駅から500mの場所に小さな谷戸として存在します。

しかし、区画整理で住宅に変わる計画が持ち上がりました。この12月議会に「この多様な生き物の宝庫が、次世代の子ども達に残されていくように」と請願(2面参照)が提出され、その審査のために市議会建設常任委員会(委員長・細野龍子・共産)が視察に向かった先は小山町の片所(かたそ)谷戸(やと)です。

審査の結果、1万1320筆の署名が添えられた請願は、全会派一致で採択されました。共産党市議団は、今後も市民といっしょに自然の宝庫を残すよう求めていきます。

議会改革調査 特別委員会が 開かれています

現在町田市議会では、2006年9月から議会改革調査特別委員会が開かれています。この特別委員会には日本共産党からは佐藤洋子議員、佐々木智子議員が参加しています。市民に開かれた議会にすることや、税金のムダづかいをなくすために委員会が奮闘しています。国の地方自治法改正によって地方議会のあり方、権限が大きく変わろうとしています。この自治体も、開かれた議会を模索し、変革を目指して論議が行われています。町田市議会でも●

●地方自治法の改正に伴う関係法令の整備に関する事項 ●議員の調査活動等に関する事項 ●議会の権能強化に関する事項 ●市民と議会の関わりに関する事項 ●議会の情報提供に関する事項 ●議員の身分等に関する事項 ●議員の身分等に関する事項について町田らしい議会改革に向けて議論を進

めていくところです。今年中には議会基本条例策定の予定です。地方議会でもよく問題となる政務調査費については、町田市議会は明確に領収書添付を義務付けてありますが、より透明性を保つため、議員の調査活動等に関する事項の論議の結果、2007年4月1日施行で規則改正を行い「政務調査費ハンドブック」を同年11月に作成しました。現在は、請願者が、議会に対して意見陳述できる制度を作ることに ついての議論が行われています。試行という形態で始められますが、この制度は市民の請願権をより補完するものとして大変によいことだと思えます。残る任期は一年です。市民に分かりやすい、市民の意思が反映される議会を作るために頑張ります。

雇用・
生活相談
など

困ったときには、いつでも 日本共産党にご相談下さい!

☎723-6312 日本共産党町田地区委員会
☎724-4030 日本共産党町田市議団控室

無料法律相談のご案内
1月28日(水) (3日とも) 町田市役所5階
2月10日(火) 党市議団控室 午後2~5時
2月25日(水) 事前にご連絡下さい